

盛んだった霊場巡り

語ってくれた人

門田徳雄さん(吉永第一小教諭)

明治十年代まで、各地で霊場(札所)めぐりが盛んに行われていました。静岡県東部には、伊豆駿河横道三十三カ所があります。市内では、十七番増川の福聚院、十八番滝川の妙善寺、十九番入山瀬福泉寺がそうです。

鵜無ヶ淵にもあった霊場

伊豆駿河横道三十三カ所は、一番から二十番まで、霊場がはつきりとわかっています。しかし、これとは別に駿河北部を中心とした

昭和五十八年六月五日号

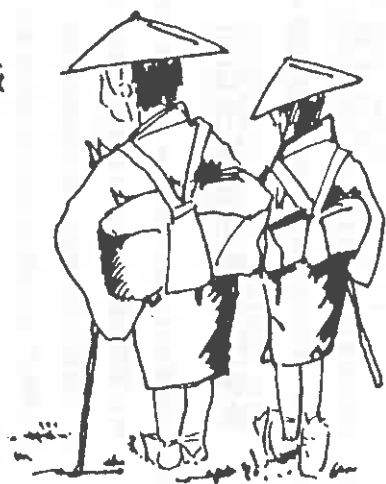


(駿河横道三十三所巡礼の一つであったことを示す石碑)

「観音横道巡礼(三十三カ所)」がありました。これは、二十九カ所しかわかっていません。

(沼津民俗資料館絵馬展より)

ところが、鵜無ヶ淵の観音堂の広場の片す



みにある小さな長方形の石に「横道三十二所
観世音菩薩」と記してあります。(写真参照)
このことは、この観音堂が「観音横道巡礼
(三十三方所)」のひとつであったことを証す
ものではないでしょうか。地区の人々に聞いて
も、このことはわかりませんでした。

もう一カ所、霊場巡りが盛んであった事を
示すものに赤淵橋(富士岡——中里間)の西、
六地藏堂の横に石碑があり、それには「駿河
横道(巡)礼供養塔」と銘記されています。こ
れは、参拝途中に遭難した巡礼のためのもの
でしょう。

いずれにしても、この二つの石碑があるこ
とは、霊場巡りが盛んであったことを示して
います。

※この話は、吉永第一小PTAの学習会「吉
永の歴史と風俗」からのものです。